

「めあて—まとめ・振り返り」を生かした授業づくり  
→全員がめあてを達成できる授業づくり

西部地区市町村教育長連絡協議会  
西部教育局

**「めあて—「まとめ・振り返り」を生かした授業づくりのチェックリスト**

チェックリストを活用して日々の授業を振り返りましょう。  
全ての先生が中級以上を目指しましょう。

校内授業研究会で、授業を見る視点としても活用できます。

	初級	中級	上級
<b>めあて</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 本時の単元名やタイトルを「めあて」として提示している。</li> <li>□ 教師が用意した「めあて」を設定し、提示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 本時のゴールイメージから「めあて」を構想している。</li> <li>□ 「まとめ」と「めあて」が正対している。</li> <li>□ 子供の疑問や気付きをもとに「めあて」を設定し、提示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 追究に向けての必然性や意欲を持つことができるよう、課題を子供から引き出し、「めあて」として提示している。</li> <li>□ 子供が自ら「めあて」を設定することができるよう、既習事項との相違点や共通点を明らかにしている。</li> </ul>
<b>まとめ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 教師主導で本時の「まとめ」を行い、板書等で提示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 子供の発言から「まとめ」を作成し、板書に整理している。</li> <li>□ 教科ならではの学習用語を取り入れている。</li> <li>□ 全ての子供がアウトプットする場を設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 子供が自分の力でまとめることができるよう、必要なキーワードを子供から引き出し、板書に整理している。</li> <li>□ 理解確認のための問い返しをすることで、全ての子供が「まとめ」について具体的にアウトプットできるようにしている。</li> </ul>
<b>振り返り</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 感想や質問を書く時間を設定している。</li> <li>□ ノートやワークシートに振り返りの記入欄を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 具体的に振り返ることができるよう、振り返りの視点を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 振り返りに対して教師が価値づけや問い返しを行うことで、「何が分かり、できるようになったのか」を全ての子供が自覚できるようにしている。</li> </ul>

大切なのは、ゴールイメージを明確にして、主眼点を引き出し、学習内容の定着を図る授業づくりをすることです。教科の特性や単元の展開に応じて「めあて」や「まとめ・振り返り」を適切に設定しましょう。

◇めあて	
<input type="checkbox"/>	本時のゴールイメージから「めあて」を構想している。①
<input type="checkbox"/>	「まとめ」と「めあて」が正対している。②
<input type="checkbox"/>	子供の疑問や気付きをもとに「めあて」を設定し、提示している。③
◇まとめ	
<input type="checkbox"/>	子供の発言から「まとめ」を作成し、板書に整理している。④
<input type="checkbox"/>	教科ならではの学習用語を取り入れている。⑤
<input type="checkbox"/>	理解確認のための問い返しをすることで、全ての子供が「まとめ」について具体的にアウトプットできるようにしている。⑥
◇振り返り	
<input type="checkbox"/>	具体的に振り返ることができるよう、振り返りの視点を示している。⑦
◇タイムマネジメント	
<input type="checkbox"/>	時間内に本時の振り返りまで到達し、全ての子供が本時の学びを自覚できるようにしている。⑧